

# 授業

(ワークショップ)

作家が先生となって指導して、  
参加者と共に作り上げていくワークショップ。  
土日のみ。1時間半という枠で仕上がるものを目指した。



## 時間割

1 時間目	10:00—11:30
給食	11:30—12:30
昼休み	12:30—13:00
2 時間目	13:00—14:30
3 時間目	14:40—16:10

※ 3 時間目・部活・HR は同じ時間です

## 上田普 「旧当尾小学校の校歌をかきま書」

11月3日（土）2時間目 1組にて

教室のドアを開けたとたん、黒板消しが先生の頭を直撃。「誰だ～？こんないたずらをするのは～？！」ベタなコトのように授業は始まった。先生はネクタイにジャージというコスプレ。「起立！礼！着席！」ああ、ここは小学校だ。教室いっぱいに大きな文字を書くなで、やったことない！でも、楽しい！教室は歓声にあふれていた。



墨提供：株式会社呉竹 紙提供：株式会社シーズクリエイト



## ミロコマチコ 「でっかいクジラを描こう」

11月10日（土）2時間目 1組にて

就学前の児童が多いクラスとなった。年齢差がどうのこうのと言ってもらえない、同じクラスメイトなのだから。最初はマーカーでの落書きからスタートする。巧いも下手も関係ない。終わってみると存在感たっぷりのでっかいクジラができあがった。



岡田翔  
「のぞきからくり」

11月4日（日）2時間目 2組にて

岡田先生の授業はちょっとむずかしい。でも理論を聞くとちょっと賢くなった気もする。小学校の椅子と机に向かって集中するのは何年ぶりだろう？カラクリを覗くと、旧当尾小学校の廊下が見えた。



HAZEL.A（招待作家）  
「ペーパークラフト教室」

～加茂の煉瓦ランプ小屋をつくろう～

11月17日（土）2時間目 図工室にて

子供用キットも用意されていたが、難しいバージョンが人気だった。赤レンガのランプ小屋は明治30年頃のもの。わが町の宝物をペーパーモデルを作りながら再確認した。



大仏鉄道の赤橋、黒髪山トンネルとミニSLの模型の展示は17日のみ。



HAZEL.A（招待作家）  
「当尾小学校ペーパーモデル」

ペーパークラフト／保健室

展示の作品は、1/300 縮尺の当尾小学校旧校舎と新校舎。わずかに残されている昔の写真から作図したという。

大場典子・松嶋真・大手久美

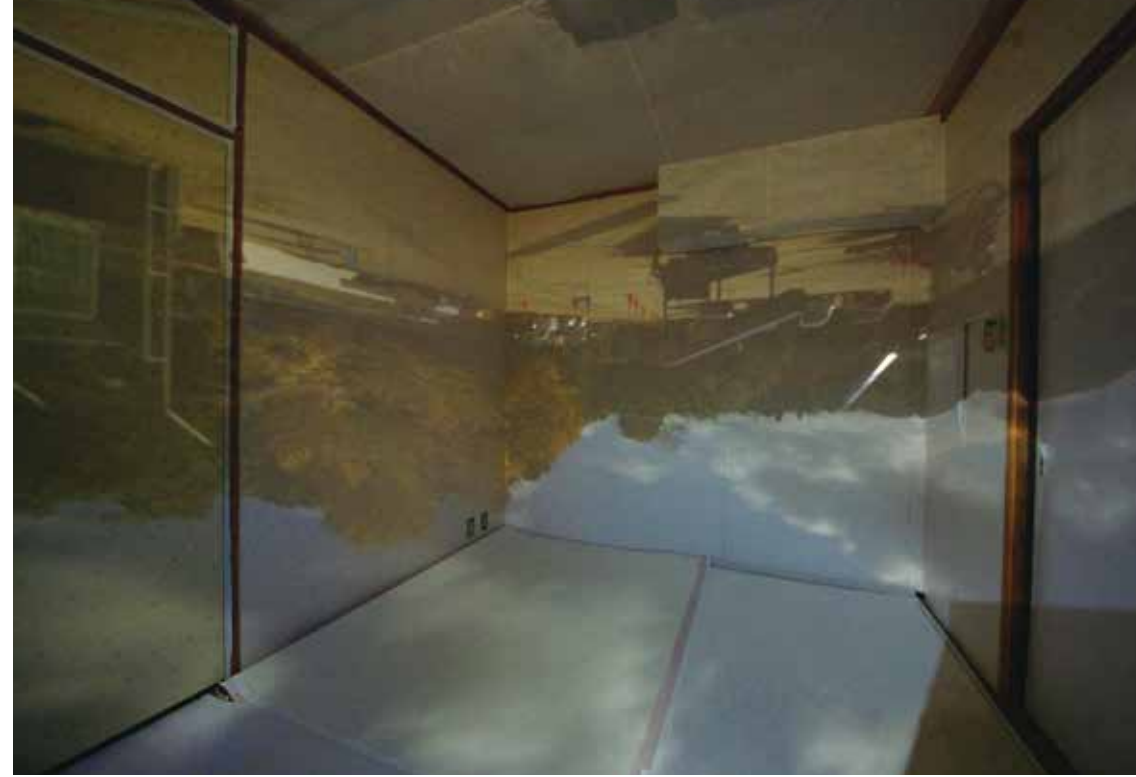
## 「実験秘密基地～小さい孔から写真を撮る～」

11月10日（土）1時間目・2時間目 図工室にて

針穴写真機を制作することからスタート。小さくきれいな孔を開ける作業に、みな緊張しながら慎重に進めた。2時間目には校庭に飛び出し撮影、さらに現像までを実践。デジタル写真が主力の現在、味わいのある針穴写真は新鮮な感動を呼び起こした。



12



13

## 大場典子・松嶋真・大手久美「放課後秘密基地」

写真・インスタレーション／用務員室

展示の部では、針穴写真や日光写真の楽しさを伝えようと、さまざまな仕掛けを展開。光を遮断し小さな孔から光を取り入れ、用務員室ごとカメラにしてしまった。これはルーム・オブスクラと呼ばれるもので、暗闇で目を慣らしていくと、やがて校庭で動く人々や校舎が、壁や天井に鮮明に映し出されるのが見えてくる。クマやカメラのかぶり物にも応用し、楽しく針穴の原理を体験できた。

さとうまちこ(招待作家)(サポート:少年少女科学クラブ)  
**「飛び出すカードをつくろう」**

11月11日(日)2時間目 図工室にて

手順を守ってあわてずゆっくり、という指導を受けてスタート。「すごい、ほんとにケーキが飛び出てくる!こうなっているのか」。キットを組み立てていく過程で、飛び出す仕組みに気づくところが醍醐味だ。「もったいなくて人にあげられない!」



さとうまちこ(招待作家)「絵のない絵本」

飛び出す絵本/図書室

アンデルセンの「絵のない絵本」が「飛び出す絵本」になった。手にとって飛び出す瞬間を楽しむ本と、既に飛び出した状態の作品と、二通りの展開にした。会期中、窓の外のイチョウと楓は日々鮮やかになっていく。静かな感動が渦巻く場所、それが図書館だ。本好きの作家は嬉々として通っていた。

# 北濱稚佳子・福田藍 「とりの土鈴づくり」

11月4日（日）1時間目 図工室にて  
12日（月）野焼き 運動場にて

八幡さまに描かれている鳥の絵にインスパイアされ、鳥の土鈴づくりの授業となった。鳥の体内に鈴を入れる作業を「たましいを入れる」という表現がおもしろい。さまざまな表情の鳥たちに形成するまでが時間内の作業。乾燥させ、後日作家自らが校庭で野焼きをして完成させた。地元の方々から提供して頂いた薪を使用するなど、地域とつながる工夫と努力が光っていた。



八の文字が鳥のデザイン



5. 校庭にて乾燥



6. 藁や薪と一緒に並べる



7. 野焼き



1. 土をこねます



2. かたちをつくります



3. もようをかきます



4. たましいをつくります



たましいを入れた  
鳥の土鈴たち



完成!

## 林直 「卒業生と話そう！」

11月11日（日）1時間目 保健室にて

昭和20年卒から平成14年卒までの当尾小学校の卒業生15名、オーディエンス9名が保健室に集まった。戦争時代のこと、旧校舎の思い出、いたずらや遊び…話は尽きない。結論などない。ただ当尾小学校を心のふるさとに思う人々が集うだけである。そのことを確認し共有することこそが、廃校になった小学校のこれからを考える上で大事なことに違いない。当尾小学校の卒業生でなくとも、思い出は普遍的でもあることに気づかされる。懐かしくいとおしい時間が流れた。



学校が写っている古い写真を持ち寄った。明治時代から記念撮影は國栖神社の前だということがわかった。懐かしい景観にいつまでも話はつきない。当日はNHKテレビの取材が入る。



### 林直「とうのお'86」

写真／保健室

19才の作者が撮った当尾の風景写真を、26年を経て焼き直した。移りゆく時間、変わらぬ空気、大事にしたいモノなどがモノクロの写真を通じて伝わってくる。保健室が持つ独特の雰囲気を活かしたいと、ベッドや備品などをそのままにした展示だった。

## 早川和子 「くるくるアニメ」

11月17日(土) 1時間目 2組にて

原始的なアニメとも言われる「ソーマトロップ」という遊び。鳥かごの中の鳥という構図をみんなで作った。指導は木津川市在住の考古イラストレーター早川和子さん。「恭仁京の大極殿」などのバージョンもあり。



## 大田高充・西村正子 「解説 加茂の昔話」

11月17日(土) 3時間目 2組にて

加茂に残る昔話を集めた西村さんと、それを再編集したアーティストの大田さんのトークショー。木津川アート2010をきっかけに、よりふるさとを知りたいと思ったという大田さん。地域ごとに昔話を分析したり、昔話の朗読、紙芝居へと進んだ。手作りの羊羹とお茶をいただくほっこり感。冷たい雨の日だったが、教室の中は郷土愛の花がたくさん咲いていた。

